

【新連載】

特許情報を用いた技術マーケティング

楠浦 崇央 (1995年卒 TechnoProducer(株))

tkusuura@gmail.com

1. はじめに

「特許」というと、少し身構えられる方も多いかもしれない。しかしながら、特許には実に有用な情報が詰まっている。日本国内で年間45万件も出ている特許、実は宝の山である。

私はSCIVAX(株)と言う会社でナノインプリント技術の開発および関連商品開発していた。その仕事をしながら、特許情報から抽出した「顧客情報」「ニーズ情報」を利用した技術マーケティングの手法を思いついた。これにより、従来は、顧客の反応を探りながら商品を開発する、という「受け身」のマーケティングしか行い得なかった、シーズ(技術)ベースのマーケティングにおいて、客観的な情報に基づいて有望顧客を探し出し、事前調査を踏まえて最初からベストな提案を持ち込むという、高効率な「攻め」のマーケティングを実施することが可能となった。また、この手法はさらにその先のセールス活動においても、有効な情報収集手段であると考えられる。

ナノインプリントとは、ナノレベルの凹凸のある「型」(テンプレート)を、被加工材料に押し付けて成型する微細加工技術



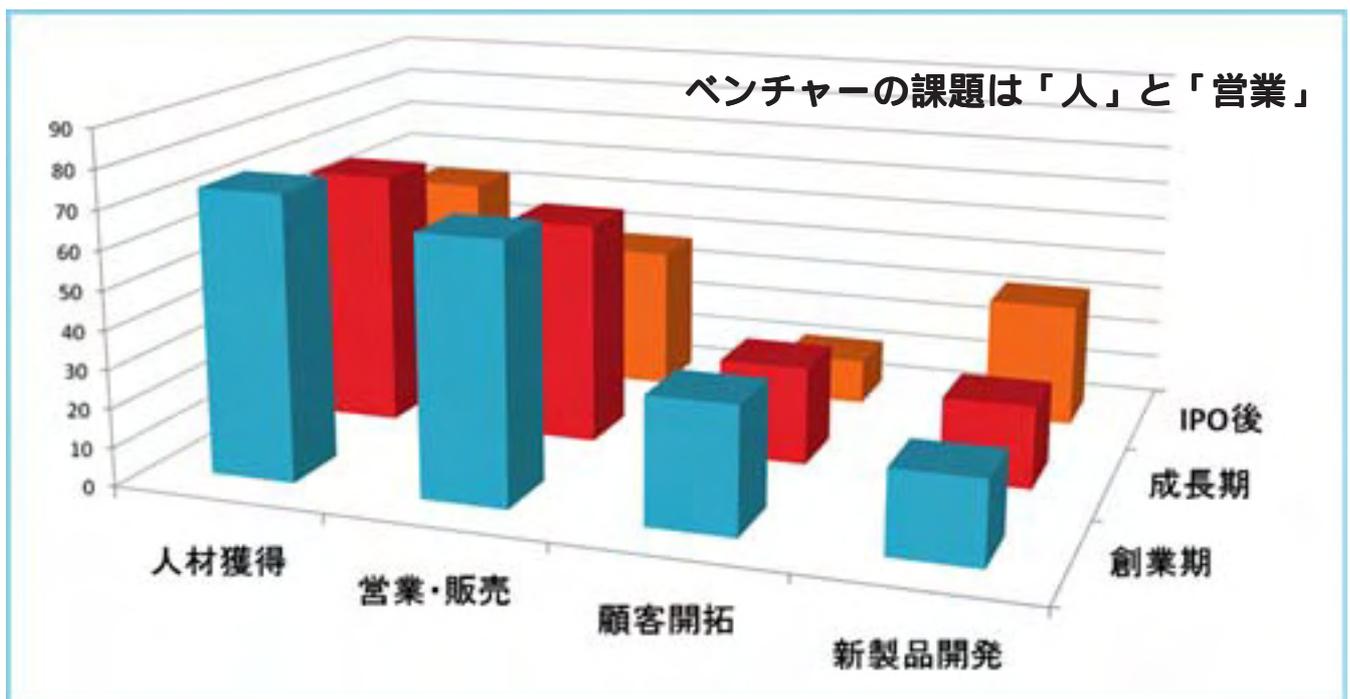
図1 ナノインプリント

このに紹介する記事は私の経験に基づいているため、「モノづくりベンチャーにおける」というスタンスでの記述となっているが、技術ベースの新規事業に取り組んでおられるところには、同じことが当てはまるのではないかと考えている。皆様の日々の業務の御参考になれば幸いである。

2. ベンチャー企業の課題～マーケティング

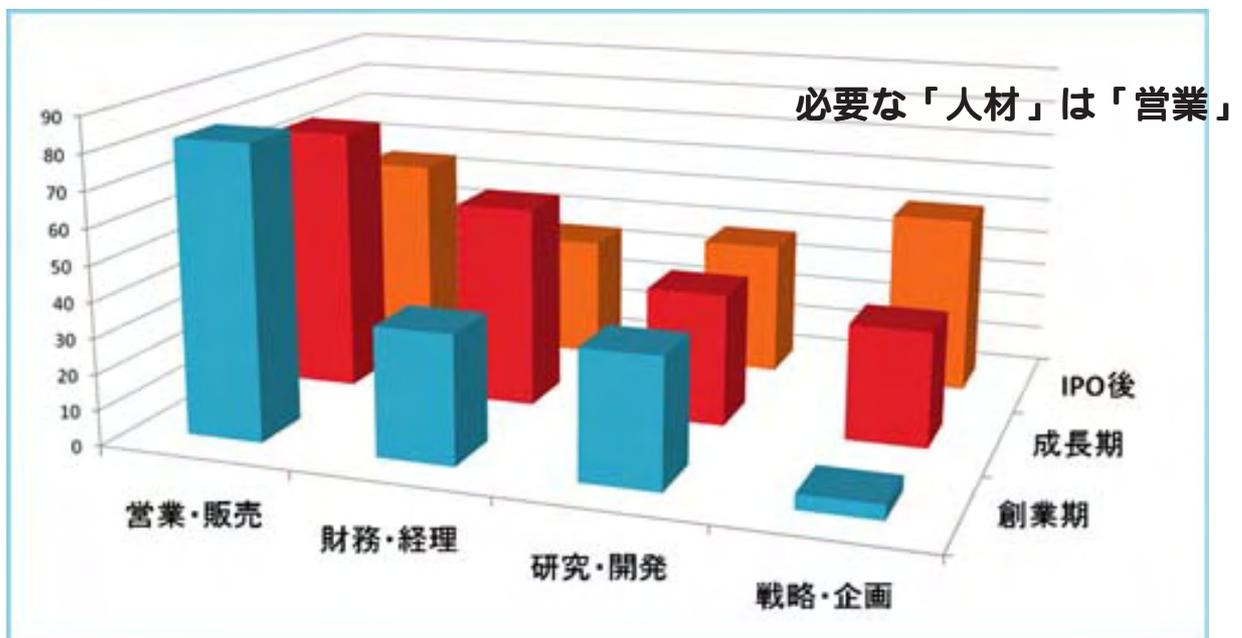
私が在籍していた SCIVAX (株) は、ナノインプリントという転写によるナノ微細加工技術の開発、製造装置販売およびアプリケーションの開発販売を行う、いわゆる研究開発型ベンチャー企業である。ナノインプリント技術は、1990年代後半から研究が活発化したナノ加工技術で、従来の光リソグラフィーを超える解像度を直接転写（プレス）加工によって実現する画期的な技術である（図1）。

一般的に、ベンチャー企業においては「人材」と「営業」がキーであるといわれており（図2） 弊社も良質な人材の確保には苦勞している。その「人材」について、詳細を見ると「営業」人材が不足となっており（図3） 結局のところベンチャー企業のネックは「営業」であるといえることができる。これは後述のようにベンチャー企業においては、その商品の新規性により「営業＝セールス」ではなく、「営業＝マーケティング（つまり営業開発）」の要素が中心となってくるからである。既存のものを売るということに関してはさまざまな営業手法が提案されているが、新しい商品の開発＝市場の開発ということについては、具体的な方法論に乏しいのが現状である。



ベンチャー企業の現状と課題（経済産業省、2007年9月）

図2 ベンチャー企業の課題



ベンチャー企業の現状と課題（経済産業省、2007年9月）

図3 ベンチャー企業の人材

3. 「ものづくり」ベンチャーの課題～技術ベースの新規事業開発の本質

多くの「ものづくり」ベンチャー（もしくは新規事業）の課題は、単にマーケティングという言葉で片づけられるようなものではない。極端に言えば、最初は商品自体も存在しない。あるのはせいぜい「コア技術」の概念程度である。その「コア技術」をもとに何を作って売ればいいのか、というビジネスモデル自体を創り出す必要がある。これは単にマーケティングという範疇を超えて、ものづくりも含んだ「技術マーケティング」とでも名付けることのできる、ひとつの新しい概念である（図4）。

そして、これは何もベンチャー企業に限った話ではない。フルービーによれば保有する技術を生かし

きっている企業は5%以下であり、つまり、大半の企業は自社の重要な知的資産である「技術」を活用できていないことになる。それは、なぜか。

一つには、多くの経営者およびマーケティング担当者にとって技術は「ブラックボックス」であり、形になっていない段

ベンチャーのマーケッターは を作る

従来のマーケティングでは・・・

- 商品を元に“売れる仕組み”を作る

ベンチャーのマーケティングでは・・・

- 技術を元に“売れる商品と仕組み”を作る
- 技術者による客先ヒアリングが必要

図4 ベンチャーのマーケティング

階で取り扱うことは難しい、あるいは少なくともそう考えて手が出せないでいること、があげられる。

上述の通り、技術マーケティングの段階においては、商品はまだない。技術を売れる形にする必要があり、顧客の利益（価値）を確認しながら商品を開発し、販売していく。では、その技術マーケティングを担うことができるのは誰か。それはその技術に精通した技術者ということになる。技術者自身が、顧客のニーズを確認しつつ開発を行い、商品を仕上げていくと同時に販売していくこととなる（図5）。

(つづく)

技術者×マーケティング = 科学

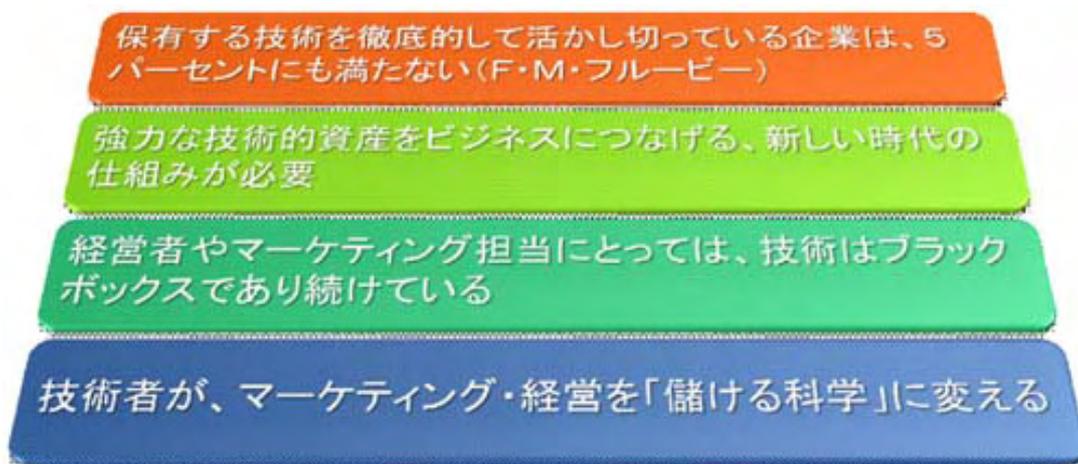


図5 技術者による「マーケティング」

—— 京機短信への寄稿、 宜しくお願ひ申し上げます ——

【要領】

宛先は京機会の e-mail: jimukyoku@keikikai.jp です。

原稿は、割付を考慮することなく、適当に書いてください。MSワードで書いて頂いても結構ですし、テキストファイルと図や写真を別のファイルとして送って頂いても結構です。割付等、掲載用の後処理は編集者が勝手に行います。宜しくお願ひ致します。

平成20年度 京機会春季大会・総会のご案内

本大会を下記により開催いたしますので、ご出席くださいますようお願い申し上げます。なお、今回はご夫婦での参加も募集いたしますので、横浜観光も兼ねた多数のご出席をお待ちしております。

日 時	平成20年4月19日(土) 13:00~
会 場 (総会・懇親会)	三菱重工業(株)横浜ビル 33階【MAP】 〒220-8401 横浜市西区みなとみらい三丁目3番1号 みなとみらい線「みなとみらい駅」より徒歩5分 JR京浜東北線/横浜市営地下鉄「桜木町駅」より徒歩10分 ランドマークタワーのすぐ隣り
特別企画 *ご希望者のみ	13:00~15:00 京機会会員とご同伴者は、ご希望のプランにご参加いただけます。参加希望の方は、受付時にプランをご選択下さい。 なお、参加費は、会員ならびにご同伴者共に無料です。 特別企画集合(受付)場所：三菱重工横浜ビル1階玄関前 ● プランA 横浜港クルーズ+日本丸メモリアルパーク見学 貸切チャーター便にて、大さん橋から山下公園、ベイブリッジ、みなとみらい地区を巡るロマンティックなクルージングを約1時間お楽しみいただいた後、日本丸メモリアルパークを見学をご見学いただきます。 ● プランB 横浜美術館見学+三菱みなとみらい技術館見学 横浜美術館では、「昭和の気品(エレガンス)、横浜の洋画家 木下孝則展」が開催されております。また、三菱みなとみらい技術館では、ご希望者に(若干名)「ヘリコプター操縦」もご体験いただけます。
春季大会・総会	総 会 15:00~16:00 1)平成19年度活動報告 2)会計報告・会計監査報告 3)支部報告 4)役員改選等 5)新年度運営方針 6)その他 技術講演会 16:00~17:20 16:00~ 「大型発電プラントの熱効率向上」 三菱重工業(株) 若園 修氏(S42) 16:40~ 「自動車用エンジンと燃料のこれから」 京都大学大学院工学研究科教授 塩路昌宏氏(S50)
懇親会	懇親会 17:30~19:30 懇親会費：京機会員 7,000円 同伴者 3,000円 学生 3,000円
お申し込み	ホームページ http://www.keikikai.jp/honbu/gyouji/gyouji.html からお願い致します。 締切 4月4日(金) (注)WEB受付では、ご同伴者のご芳名が登録できませんので、ご同伴者がおられる場合は、通信欄にご記入いただきお知らせください。
問い合わせ	京機会事務局 tel. 075-753-5183 jimukyoku@keikikai.jp
	● ご自由な服装でお越しください。

懇親ゴルフのご案内

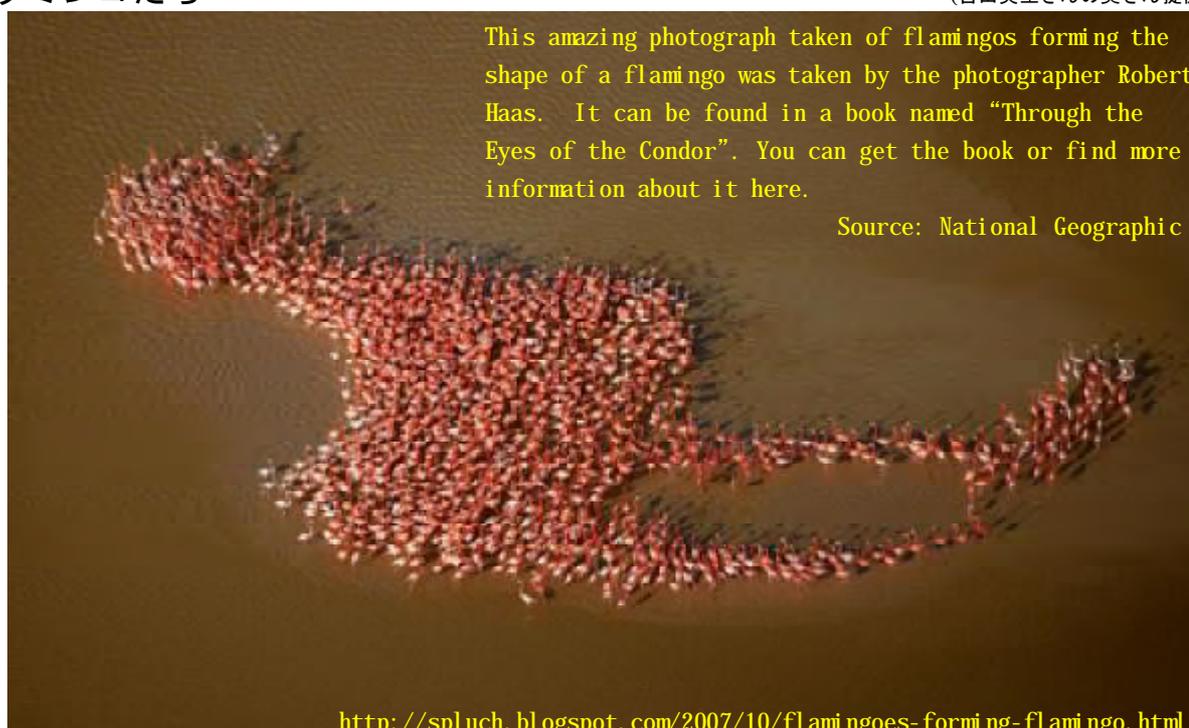
春季大会・総会翌日「かずさカントリークラブ」にて懇親ゴルフコンペを開催いたします。ご参加の方は上記春季大会・総会と合わせてお申し込みください。

会 場	平成20年4月20日(日) つばめコース 9時31分～
会 費	約22,500円 (プレー費、キャディ費、乗用カート、賞品、パーティ代を含む)
参加人数	5組
交 通	クラブバスが出ております (1)JR五井駅発 8時15分 (東京駅7時30分発ビューさざなみ3号に連絡) (2)横浜駅 7時発→8時40分着
お申し込み	http://www.keikikai.jp/cgi-bin/index.cgi?D155 締切 4月4日(金) (注) 春季大会・総会受付にて併せてお申し込み下さい。
問い合わせ	京機会事務局 tel. 075-753-5183 jimukyoku@keikikai.jp

地球では、信じられないことが起きている

カメラが奇跡の瞬間をとらえた。 メキシコ・ユカタン半島の干潟で鳥の形に群れるフラミンゴたち

(吉田英生さんの奥さん提供)



産業構造審議会産業技術分科会研究開発小委員会（第22回）配付資料

<http://www.meti.go.jp/committee/materials/g80305aj.html>

1．技術戦略マップのローリングの進捗状況について

（参考）欧州におけるサステナビリティに対する取組

<http://www.meti.go.jp/committee/materials/downloadfiles/g80305a03j.pdf>

2．欧州調査報告（サステナビリティに対する取組）

<http://www.meti.go.jp/committee/materials/downloadfiles/g80305a04j.pdf>

3．「技術戦略マップ」について

<http://www.meti.go.jp/committee/materials/downloadfiles/g80305a05j.pdf>

4．日本企業の研究開発の動向と政策ニーズ

<http://www.meti.go.jp/committee/materials/downloadfiles/g80305a06j.pdf>

5．米国調査報告

（政府主要研究機関の実情、ベンチャー・大学有識者からの示唆

<http://www.meti.go.jp/committee/materials/downloadfiles/g80305a07j.pdf>

6．国内外の動向を踏まえた研究開発政策の検討課題

<http://www.meti.go.jp/committee/materials/downloadfiles/g80305a08j.pdf>

7．研究開発プログラムの見直しについて（案）

<http://www.meti.go.jp/committee/materials/downloadfiles/g80305a09j.pdf>

8．イノベーションプログラム俯瞰図（案）

<http://www.meti.go.jp/committee/materials/downloadfiles/g80305a10j.pdf>

京都大学フォーミュラプロジェクト



京都大学フォーミュラプロジェクト KART
プロジェクトリーダー 鯨岡絵理

E-Mail : BALEINE@514.mbox.media.kyoto-u.ac.jp

2008年2月期活動報告

京都大学では試験や卒業研究の終了した2月上旬より、春休みとなりました。厳しかった冬の冷え込みが次第に緩み、道端に1つ、また1つと春の花が開くように、本年度車輛 YJR-06 のパーツも少しずつ製品になっております。 それでは、春休み前半、2月期の活動報告をさせていただきます。



工場講習会

2月からの車輛の製作にあたり、技官の方々に工場使用の注意点や工作機械使用法の再確認等の講習を行って頂きました。ご指導を受けながら加工を行う加工実習授業とは異なり、KARTでの車輛製作では、安全や加工上の注意など様々な判断を自分で行わなければなりません。何事におきましても慣れた頃に失敗をする、と言われる。常に初心を保ち、本講習会での内容を心に留めながら怪我のないよう製作に取り組んで参りたいと思います。講習を行って頂いた技官の皆様、ありがとうございました。この場を借りて御礼申し上げます。

YJR-06 製作開始

第 6 回全日本学生フォーミュラ大会への私たちのチームの参戦車両である YJR-06 の製作を開始致しました。 車両の早期完成は本年度の目標の 1 つです。 スケジュール通り、2 月製作開始は達成することができましたが、現在まだ問題を抱えているパートも多くあります。 今後は全体の進み具合を考慮に入れ、また先の見通しを念頭に置きながら製作に取り組み、予定していた 5 月のシェイクダウンに間に合わせたいと考えております。 各パートの詳細に関しましては各班報告の中で述べさせていただきます。



加工開始

あと1ヶ月程で入学式となり、KART にも新メンバーが加入致します。 本年度は、この 4 月に加入するメンバーも車両や製作についての知識を深めた上で大会に臨みたいと考えております。 現在、そのための新入生向けの勉強会等の計画を立案中です。 強いメンバーが在籍している年だけ良い車両ができるチームではなく、教育や引継ぎにより、毎年良いメンバーを育成し、安定して良い車両を製作できる強いチームを目指して参ります。

どうぞ今後ともご声援よろしくお願い致します。



デフマウントブラケット



リストラクタ

会計について報告させていただきます。

《運営経費報告》

収入	学生負担	50,000
支出	運営費	66,275

3月には白浜での走行会を予定していることもあり、今後は更なる支出が見込まれます。ご支援のご検討を頂ければ大変幸いに存じます。

ぜひともよろしくお願い致します。

KART チーム口座

京都銀行 銀閣寺支店（店番 141）

口座番号：普通預金 3242776

口座名義：KART FA 横小路 泰義